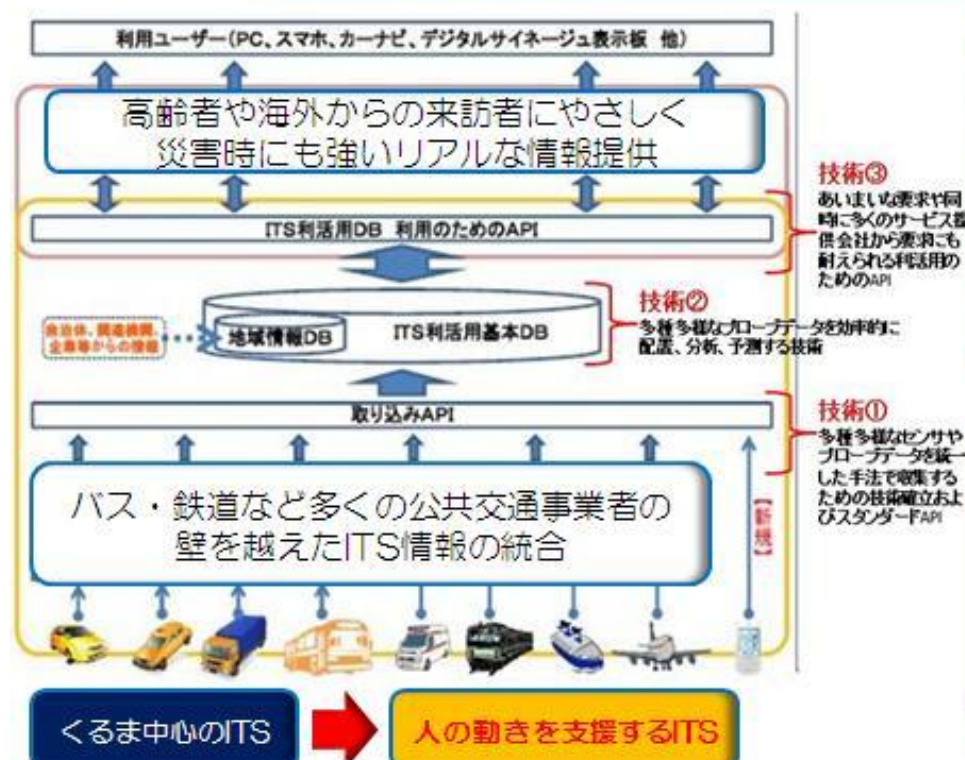


人の動きをやさしく支援する 地域ITS利活用基盤に関する研究開発



研究目的 人の動きの支援により商業や観光を盛んにし、地域に経済的な効用をもたらすことが主目的。従来相互接続が困難であった複数の公共交通機関などが持つITS情報、商業や観光など地域内の様々な事業者が持つ情報を統合する地域ITS利活用基盤を構築するための技術・手法について研究開発を行う。高齢者支援や災害時の海外からの渡航者への情報支援も併せて目的とする。



研究開発の概要 公共交通や商業・観光事業者や自治体などからの多種センサ情報、関連URL情報を地域ITSの基本DBに容易に取り込むAPI及び手法、複雑に絡むプローブ・データをURL解析・アクセス解析等により整理・統合する技術、また統合コンテンツを効率的に利活用するAPIおよび手法を研究開発する。問題点や効果の確認のためのリファレンス・アプリも作成し、携帯電話網や公共無線LAN環境などを利用して実証実験を行う。

期待される研究効果・社会的意義 異事業者の壁を越えた地域ITS情報基盤の構築は、購買意欲や機会を高めるだけではなく、高齢者などにも安心・安全な街を実現する。これによる経済的効果は大きい。また災害時などの異常時にも、海外からの訪問者も含めた全ての人への情報の伝達や、所在の確認ができ、防災・減災の観点から強い街づくりに役立つ。